

亜塩素酸水を噴霧することによる浮遊ウイルスの除去性能評価試験（25m³空間）

試験方法は、仕様書No.20225034226号に従った。

・結果

表. 経過時間ごとの浮遊ウイルス数

試験条件	浮遊ウイルス数 (PFU/20 L-air)					
	0分	10分	60分	120分	180分	240分
自然減衰 (コントロール)	370,000	210,000	190,000	140,000	69,000	51,000
水道水 間欠噴霧 (1分10秒噴霧+58分50秒停止)	520,000	540,000	180,000	90,000	55,000	25,000
亜塩素酸水製剤 間欠噴霧 (1分10秒噴霧+58分50秒停止)	650,000	250,000	14,000	700	52	12

製 剤：亜塩素酸水製剤「クロラス除菌ウォーター」（亜塩素酸濃度：200ppm設定）

噴霧器：空間除菌デバイスDevirus AC（型番：DVAC-1500）

※噴霧量：約1,200～1,500mL/時

間欠噴霧は180分まで60分ごとに1分10秒噴霧

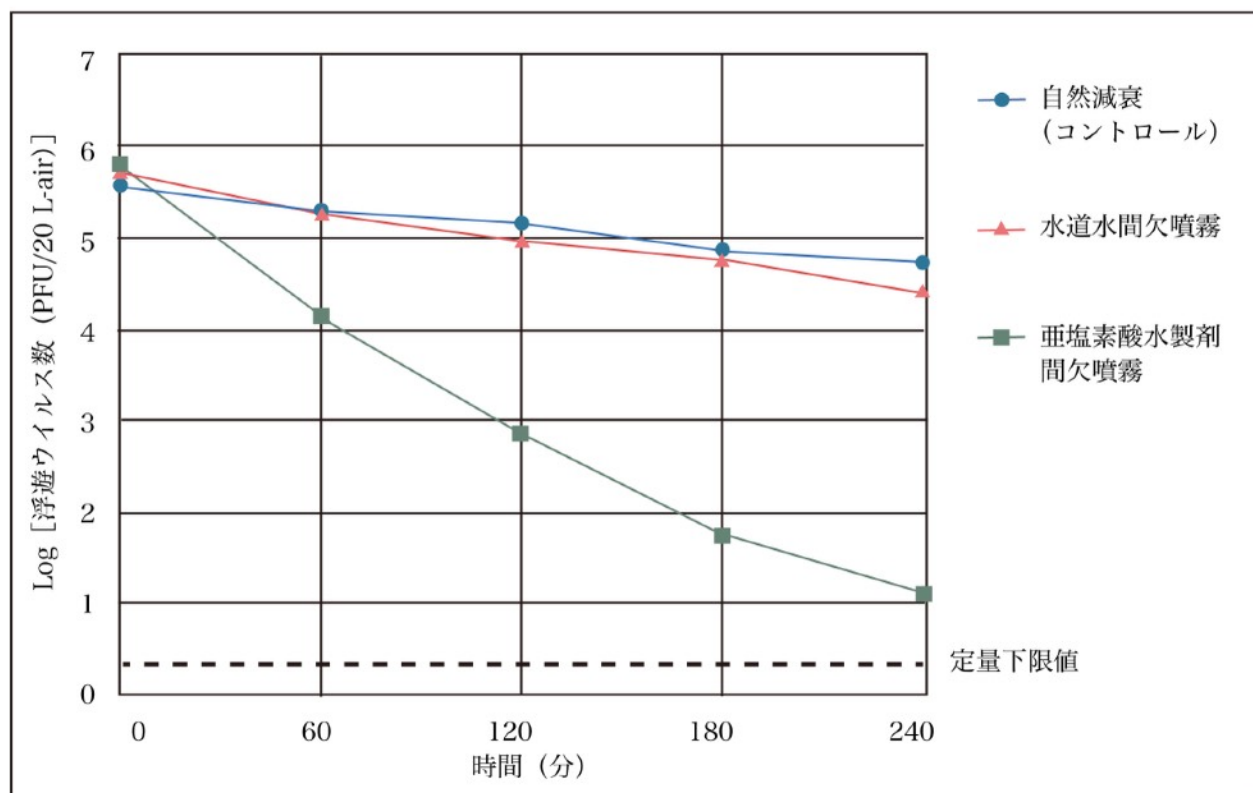


図. 経過時間ごとの浮遊ウイルス数

※これは、2022年5月30日に一般財団法人 北里環境化学センターより報告された「亜塩素酸水製剤を噴霧することによる浮遊ウイルスの抑制性能評価試験」をもとに一部抜粋したものです。